

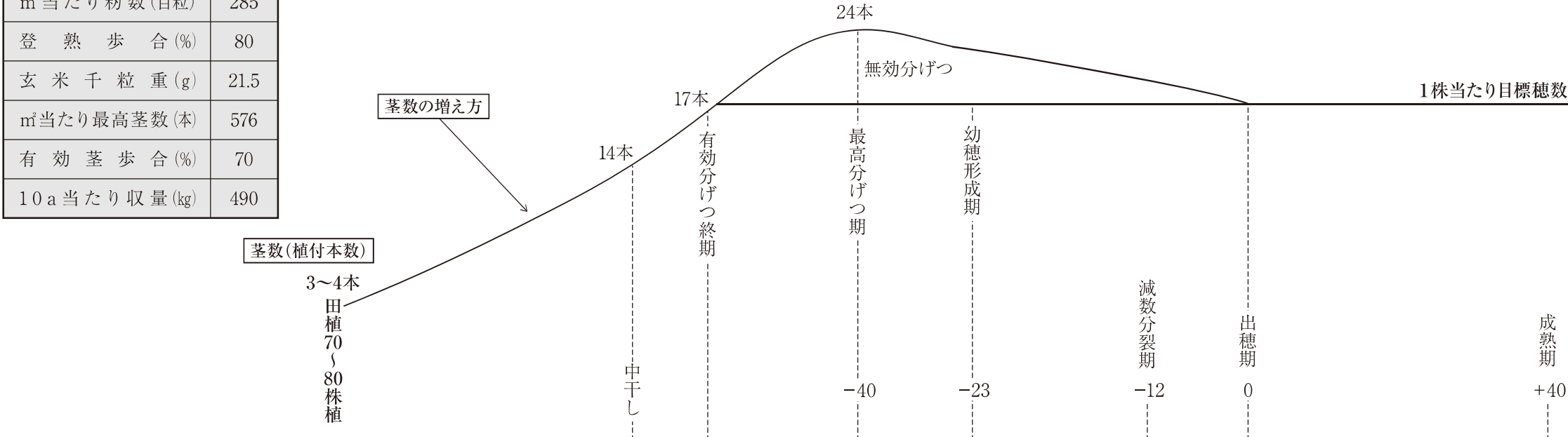
新大正糯の栽培 ごよみ (JA米生産基準)

収量構成の目安	
収 量 構 成	目 安
㎡ 当 たり 株 数 (株)	24
1 株 当 たり 穂 数 (本)	17
㎡ 当 たり 穂 数 (本)	408
平 均 1 穂 粳 数 (粒)	70
㎡ 当 たり 粳 数 (百粒)	285
登 熟 歩 合 (%)	80
玄 米 千 粒 重 (g)	21.5
㎡ 当 たり 最 高 茎 数 (本)	576
有 効 茎 歩 合 (%)	70
10 a 当 たり 収 量 (kg)	490

栽培のポイント
①健苗育成 (十分換気を行い硬い苗を作る) ②70株植えの徹底、3cm植えの浅植え (茎数の取れにくいほ場では80株) ③穂揃期の葉色確保 (葉色4.3程度目標) ④出穂後20日間の湛水管理の徹底

水管理のポイント	
	目 安
田植日	5月15日
やや深水管理	5月15日～5月19日
初期除草剤散布	5月15日～5月17日
体系是正剤散布 (初期剤使用の場合)	5月25日～5月29日
体系是正剤散布	5月15日～5月23日
浅水管理	5月20日～6月8日
軽い田干し (2日程度)	5月22日～5月24日
落水(軽い田干し)	6月9日
溝切り	6月11日～6月14日
中干し	6月15日～6月25日
間断かん水	6月26日～7月20日
飽水管理	7月21日～8月12日
湛水管理(出穂期)	8月13日～9月2日
間断かん水	9月3日～9月14日
落水	9月15日～

※中後期除草剤は残草の種類を見て随時散布する



月 日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月					
	5/15		6/15 6/18	7/4 7/21	8/1 8/13	9/22						
生育期区分	育苗期		田植期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	稲体組織充実期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登 熟 期	収穫期	土づくり
水 管 理	深水管理		浅水管理	溝切り、中干し		間断かん水		飽水管理		湛水管理	間断かん水	
栽 培 管 理 の ポ イ ン ト	○雑草が多かったほ場では、刈取後に雑草に応じた除草剤を散布する。 ○稲わらの腐熟を促進するため秋耕を行い、必ず排水溝を掘る。 ○シリカロマンは10 a当たり100 kg以上施用する。 ○土壌診断に基づく土づくりの実施。											
	地力増強に努める											
	○刈取適期表示を目安に刈取を行い、胴割れや穂発芽が発生しやす いので刈遅れのないようにする。 ○刈取適期表示を目安に刈取を行い、胴割れや穂発芽が発生しやす											
	籾の黄化率85～90％程度が刈取時期											
	落水を急がない											
	○フーン時は事前に入水して、品質低下を防ぐ。 ※ただし、ほ場状況に応じて落水時期は調整する。 ○刈取予定日の5～7日前までは間断かん水を行う。											
	稲体の活力維持											
	○基本防除を徹底する。											
	いもち病・カメムシ類防除の徹底											
	○穂揃期は43程度の葉色を目標とする。 ○2回目は1週間後に行う。 ○第1回目の穂肥は幼穂長15㎝、葉色3.6で行う。 ○つなぎ肥は慎重に、葉色低下が著しい場合は追肥を5 kg／10 a以内											